



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 戸田工業株式会社

コード番号 4100 URL <https://www.todakogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 久保 恒晃

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 友川 淳 TEL 082-577-0055

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,757	10.9	△205	-	△217	-	△799	-
2024年3月期第3四半期	19,613	△28.7	231	△80.8	1,288	△53.1	1,513	△43.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △51百万円 (-%) 2024年3月期第3四半期 3,068百万円 (△24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△138.41	-
2024年3月期第3四半期	262.05	260.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	55,574	14,660	24.8
2024年3月期	53,714	14,525	25.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,783百万円 2024年3月期 13,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	12.4	△100	-	△400	-	△1,300	-	△224.95

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	6,099,192株	2024年3月期	6,099,192株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	317,822株	2024年3月期	321,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	5,779,716株	2024年3月期3Q	5,775,466株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、不安定な国際情勢、米国の今後の政策動向、中国経済の先行き懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、マテリアリティで定めた2030年度(2031年3月期)のありたい姿の達成を目指し、2024年度(2025年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Vision2026」を策定いたしました。事業ポートフォリオマネジメントの強化を掲げて、選択と集中の加速による事業成長に取り組んでおります。

また、収益改善に向けて製品価格は正活動、原価低減活動、諸経費削減等を推し進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、売上高は21,757百万円(前年同期比10.9%増)、営業損失は205百万円(前年同期は営業利益231百万円)、経常損失は217百万円(前年同期は経常利益1,288百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は799百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,513百万円)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(機能性顔料)

中期経営計画にて収益基盤事業と位置付けている触媒向け材料の需要は好調に推移しており、売上は前年同期に比べ伸長しております。一方で、再生・転換事業である複写機・プリンター向け材料等の需要が想定以上に減少したことから、売上高は前年同期比2.5%減の6,002百万円、セグメント利益は前年同期比5.2%減の689百万円となりました。

(電子素材)

再生・転換事業であるLIB用前駆体材料はEV市場の成長鈍化の影響を受け、受注が急激に落ち込んだものの、成長事業である磁石材料及び誘電体材料の需要は好調に推移いたしました。また、次世代事業である軟磁性材料においても、戸田マテリアルズ株式会社(2025年1月1日付で戸田イスコPORATIONから社名変更)の連結子会社化及び業績が好調に推移したことから、売上高は前年同期比17.0%増の16,150百万円となりました。しかしながら、上述のLIB用前駆体材料における需要の低迷により、セグメント利益は前年同期比33.8%減の1,301百万円となりました。

営業外収支においては、持分法適用関連会社の収益がEV需要の低迷により減少いたしました。また、外貨建資産負債の評価替えによる為替差益が前年同期に比べ減少いたしました。特別損益においては、当社が保有する事業用資産及び共用資産について、減損損失を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は55,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,860百万円増加いたしました。これは主に、仕掛品が555百万円減少したものの、有形固定資産が1,536百万円、投資有価証券が760百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は40,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,725百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が312百万円、賞与引当金が220百万円減少したものの、借入金が2,367百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は14,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が799百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が582百万円、為替換算調整勘定が187百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月11日の「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,164	8,648
受取手形及び売掛金	8,712	8,439
商品及び製品	4,662	4,476
仕掛品	2,476	1,921
原材料及び貯蔵品	4,718	4,793
その他	1,587	1,619
貸倒引当金	△11	△22
流動資産合計	30,309	29,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,583	1,878
機械装置及び運搬具(純額)	1,686	1,617
土地	4,887	5,580
建設仮勘定	210	857
その他(純額)	492	463
有形固定資産合計	8,860	10,396
無形固定資産		
のれん	2,497	2,658
その他	13	20
無形固定資産合計	2,510	2,678
投資その他の資産		
投資有価証券	3,290	4,050
関係会社出資金	8,016	7,938
その他	729	635
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	12,033	12,620
固定資産合計	23,404	25,696
資産合計	53,714	55,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,507	3,195
短期借入金	9,113	9,054
1年内返済予定の長期借入金	4,712	5,072
未払法人税等	148	111
賞与引当金	314	94
その他	3,832	3,635
流動負債合計	21,629	21,163
固定負債		
長期借入金	13,490	15,556
長期未払金	112	-
退職給付に係る負債	2,342	2,271
その他	1,613	1,923
固定負債合計	17,559	19,750
負債合計	39,189	40,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	4,306	4,297
利益剰余金	△425	△1,225
自己株式	△1,447	△1,428
株主資本合計	9,910	9,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,389	1,971
為替換算調整勘定	2,016	2,203
退職給付に係る調整累計額	543	488
その他の包括利益累計額合計	3,950	4,662
新株予約権	97	106
非支配株主持分	567	769
純資産合計	14,525	14,660
負債純資産合計	53,714	55,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	19,613	21,757
売上原価	15,061	17,201
売上総利益	4,551	4,556
販売費及び一般管理費		
従業員給料	879	1,031
賞与引当金繰入額	142	125
退職給付費用	81	66
研究開発費	1,151	1,141
その他	2,065	2,397
販売費及び一般管理費合計	4,320	4,762
営業利益又は営業損失(△)	231	△205
営業外収益		
受取利息	39	56
受取配当金	64	74
持分法による投資利益	789	117
為替差益	314	4
その他	96	94
営業外収益合計	1,304	347
営業外費用		
支払利息	220	337
その他	26	22
営業外費用合計	246	359
経常利益又は経常損失(△)	1,288	△217
特別利益		
固定資産処分益	11	42
投資有価証券売却益	76	-
段階取得に係る差益	475	-
受取補償金	162	92
特別利益合計	726	134
特別損失		
固定資産処分損	52	18
減損損失	-	309
その他	0	-
特別損失合計	52	328
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,962	△410
法人税、住民税及び事業税	223	319
法人税等調整額	126	58
法人税等合計	350	378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,612	△789
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,513	△799

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,612	△789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	461	581
為替換算調整勘定	786	132
退職給付に係る調整額	17	△55
持分法適用会社に対する持分相当額	191	79
その他の包括利益合計	1,456	737
四半期包括利益	3,068	△51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,914	△87
非支配株主に係る四半期包括利益	153	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	587百万円	363百万円
のれんの償却額	299	432

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	6,153	13,459	19,613	-	19,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	339	345	△345	-
計	6,159	13,799	19,958	△345	19,613
セグメント利益	726	1,964	2,691	△2,460	231

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,460百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,460百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	5,988	15,768	21,757	-	21,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	381	395	△395	-
計	6,002	16,150	22,152	△395	21,757
セグメント利益 又は損失(△)	689	1,301	1,990	△2,196	△205

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,196百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,196百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能性顔料」「電子素材」及び各報告セグメントに帰属しない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「機能性顔料」で182百万円、「電子素材」で38百万円、各報告セグメントに帰属しない全社資産で88百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。